

令和元年11月7日定例教授会議事抄録

出席者

榊屋所長

青山、池本、板倉、大木、小寺、佐藤、菅、園田、高橋、高見澤、中島、名和、馬場、平勢、松田、真鍋、安富の各教授

秋葉、池亀、上原、額定其芳、佐橋、鐘、塚本、古井、米野の各准教授

海外渡航者

黒田、森本の各教授、 藏本准教授

議事

10月10日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について、資料6のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P7のとおり5件

報告事項

3. 所長報告

榊屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議（10月29日）

① 東京大学海外遺伝資源取扱ポリシーの制定

資料P9～10に基づき、東京大学海外遺伝資源取扱ポリシーの制定について報告があった。

② レンタル携帯電話サービス大口契約の事業者決定及び今後のスケジュール

資料P11に基づき、レンタル携帯電話サービス大口契約の事業者決定及び今後のスケジュールについて報告があった。

③ 東京大学統合報告書2019

回覧資料に基づき、東京大学統合報告書2019について報告があった。

④ 英語版報告書「VISION」「ACTION」の発行

回覧資料に基づき、英語版報告書「VISION」「ACTION」の発行について報告があった。

⑤ その他

(1) フィールドスタディ型政策協働プログラム

資料P12～13に基づき、フィールドスタディ型政策協働プログラムについて報告があった。

2) 予算委員会（10月29日）

資料P14に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

3) 科所長会議（11月5日）

① 令和元年度若手研究者自立支援「東京大学卓越研究員（推薦型）」

資料P16～17に基づき、令和元年度若手研究者自立支援「東京大学卓越研究員（推薦型）」について報告があった。

4) 国立大学附置研究所・センター会議第3部会（10月18日）

10月18日（金）に国立大学附置研究所・センター会議第3部会会議及びシンポジウムが開催された旨報告があり、盛況であったシンポジウムの報告とともに参加いただいた関係教員へ謝辞が述べられた。

5) 教員の海外渡航について（報告）

資料P18～19に基づき、8件を承認した旨報告があった。

6) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P20～21のとおり、委員等3件、非常勤講師等1件を承認した旨報告があった。

7) 教員人事について

東アジア第2研究部門准教授採用予定者に関する採用手続き状況について、現在、令和2年4月1日付け採用のための手続きを行っている旨報告があった。

8) その他

① 10月23日（水）に実施した本部・東文研合同防災訓練実施について報告があり、今後の課題点等として避難経路を変えて訓練を行う等の工夫が必要であることの説明があった。

② 初年次ゼミナール文科開講希望調査について、前回教授会審議の後、森本教授が担当することとなった旨報告があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

安富委員長より、資料P22～23に基づき、総合研究博物館耐震改修工事に伴う報告があり、総合研究博物館と東洋文化研究所の渡り廊下は残置されること、および喫煙所と駐輪場（公用含む）が一時使用禁止になるのでその間、近隣部局の駐輪場を使用することとなる旨説明があった。

また、防災用ヘルメットについて全員に配付する旨説明があった。

2) 財務委員会

高橋委員長より、資料P24～25に基づき、2019年度予算執行状況表について報告があり、個人、委員会ともに計画的な執行への協力要請があった。

3) 情報・広報委員会

真鍋委員長代理より、10月19日（土）に開催された第19回公開講座の参加者数等について報告があった。

4) 研究企画委員会

青山委員長より、本日14時から開催される馬場教授の定例研究会について案内があった。

5) 図書委員会

板倉委員長より、資料P26に基づき、東京大学アジア研究図書館利用規則（案）

について報告があった。

また、資料P 27に基づき、復刻出版申請について報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) G J S委員会

特になし

8) E A A委員会

中島委員長より、E A Aに関する記事が東京大学統合報告書 2019 に掲載された旨報告があった。

9) 環境安全管理室

特になし

10) その他

上原レクレーション委員長より、次回教授会開催日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

佐納事務長より、

① 情報セキュリティ監査の実施報告について10月29日に実施され、ヒアリングを受け、情報共有を行った旨報告があった。

② 年次有給休暇について、原則事前申請であること、取得方法として休暇簿に記入して申請する必要がある旨説明があり、12月末までに合計5日の年次有給休暇を取得するよう協力要請があった。

平勢教授より、

6月13日に教授会にて承認された海外渡航について、会議の日程変更によりキャンセルした経緯が報告された。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

特になし

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 28～30のとおり8件の受入れ及び1件の受入期間変更が承認された。

8. 2020年度Sセメスター(S1ターム・S2ターム)全学自由研究ゼミナール等の実施について

柵屋所長より、資料P 31に基づき、教養学部から2020年度Sセメスター全学自由研究ゼミナールの担当教員選出依頼が届いており、希望の申し出がなければ佐橋准教授に担当いただくとの説明があった。なお、東文研では希望者を優先したうえで、着任日を基準に順番で依頼することとしているとの説明があり、2020年度Aセメスター以降は、希望者がいなければ2020年度着任教員が担当する予定になるとの説明があった。

9. 国際卓越大学院教育プログラムの開設について

園田教授より、資料P 3 2～3 6に基づき、国際卓越大学院教育プログラムの開設について東洋文化研究所が参画した経緯説明があり、当該プログラムの開設に係る申請に関し、学内連携組織となることが承認された。

10. 教員人事について

榊屋所長より、南アジア研究部門の准教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、続けて、南アジア研究部門選考委員長から、回収資料に基づき、准教授候補者について、選考過程、選考理由等の説明があり、投票を行った結果、可決された。

11. 次期所長候補者選考の開始について

榊屋所長から、資料P 3 7～3 8に基づき、次期所長候補者の選考スケジュールおよび手順について説明があり、承認された。引き続き所長経験者は再選されないことなどを含めた次期所長候補者適任者の推薦にあたっての留意点について説明があった。

また、確認された手順に基づき、選挙管理担当者の指名があった。

なお、再三お願いしているが、所長候補者の選出にあたっては、教授会構成員総数の3分の2以上の出席が必要条件となるため、必ず出席していただきたい旨要請があった。

12. その他

特になし

以上